41 01 08 01 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月13日（木）

事務事業	道路・水路境界確認事業	担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	4129
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画施策分野別名 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	道路法 深谷市境界確認事務処理要領				
中項目	200002 交通アクセスの便利なまちづくり						
小項目	200001 道路・交通環境整備の推進						

事業概要	申請に基づき境界確認事務を実施するもので、道水路との民有地の境界を確定させ、境界点の測量及び境界標の設置業務を委託し、適正な道水路用地の管理を行うとともに、境界確認申請に迅速に対応する事業である。
目的 ※何のために	道水路とこれに隣接する土地との境界について、隣接土地所有者からの申請を受けて相互にその意思を確認し、確認された内容を将来にわたって明確にする。
対象 ※誰・何を対象に	道水路の確認申請を受けた用地
手段 ※どのように	基本的には担当職員により、資料収集、現地調査測量、図面作成、現地立会い等を行う。 申請数の状況によっては、業務委託により測量、図面作成等を行う。
成果 ※何を求めるか	境界の確定により、申請地と道路又は水路との境界を明確にし、道水路の用地を適正に管理できる。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	08	土木費	01	土木管理費	01	土木総務費	道路境界測量事業	496,433
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

- 境界確認申請の受付
- 境界復元
- 道路・水路の境界確認事務
- 基準点管理
- ＧＩＳを活用した過去資料電子化
-

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画						・ＧＩＳを活用した過去資料電子	
事業費	予算（現額）	408,000	333,000	1,402,000	746,000	2,544,000	2,568,000
	決算額	169,862	74,495	1,249,617	496,433	0	0
	財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	169,862	74,495	1,249,617	496,433	2,544,000	2,568,000
人件費	従事職員数（人）	3.30	4.29	2.90	2.80	2.27	2.27
	人件費相当試算 ※1	25,670,700	33,384,780	22,796,900	22,814,400	18,468,720	18,468,720
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		25,840,562	33,459,275	24,046,517	23,310,833	21,012,720	21,036,720

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	境界確認申請件数	目標値	件							■
			実績値		420.00	447.00	424.00	449.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		申請によるため、目標値の設定なし。							
		境界確認申請受付簿									
■	成果指標１	境界復元した割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		申請に対し、境界復元については、取下げ以外はすべて実施するため、１００％とする。							
		境界復元箇所数／処理件数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 申請件数は、申請者による建物等の建替えや開発動向に左右されるが４４９件の申請を受理した。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 事務処理誤り等もなく、当該年度において処理した全ての申請において適正な事務処理が行われた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	調査係長　小林正行

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	なし
達成状況 及び その効果	なし

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道路・水路境界確認事業	担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	4129

□ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
■ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

「深谷市境界確認事務処理要領」に基づく境界確認申請により、道路台帳や過去の境界確認資料を参考に現地調査を行うものである。全ての申請に対応しているものの、過去資料発行にかかる時間短縮を求める要望に対応していく必要がある。

評価者	道路管理課長　宮下昌規

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

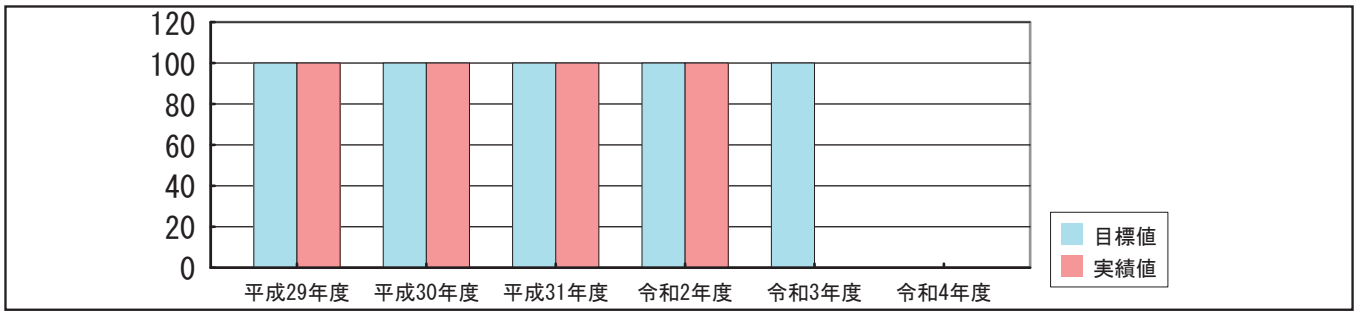
改善・改革案	境界確認の申請件数は、年間４００件を超える一方で、境界確認に必要な過去資料発行までの時間短縮を求める申請者が後を絶たない。このため令和３年度から深谷市行財政改革実施計画にも位置づけ、ＧＩＳを活用した過去資料の電子化に着手した。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

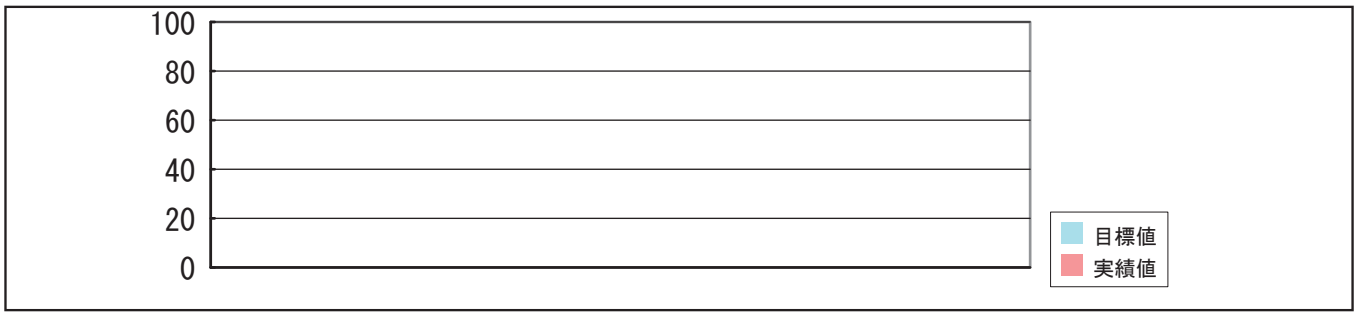
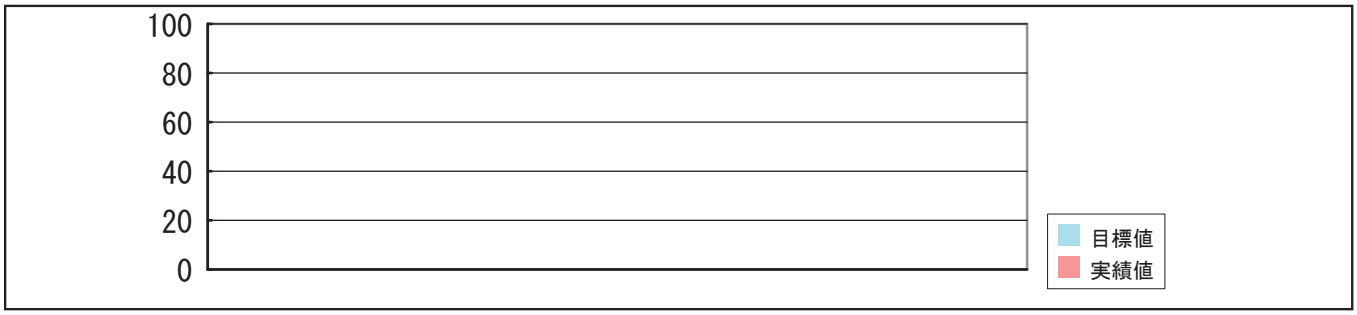
今後の課題	深谷市行財政改革実施計画に基づく、ＧＩＳを活用した過去資料の電子化を令和３年度より進め、申請のつど、庁外の書庫への往復及び資料発行までの時間短縮に引き続き努めていく必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	境界復元した割合



区分		指標名	



区分		指標名